

特集 大規模更新事業の推進



高速大師橋リニューアル 約300mの橋を2週間で新しく架け替え

東京と神奈川をつないで半世紀、高速大師橋は生まれ変わります。
100年先の未来のために。

事業概要

高速大師橋は、1968年の開通から50年以上が経過し、多くの自動車交通による過酷な使用状況などにより、橋梁全体に1200か所以上の疲労き裂が発生しているため、構造物の長期的な安全性を確保する観点から、橋梁の更新(造り替え)工事を実施しています。

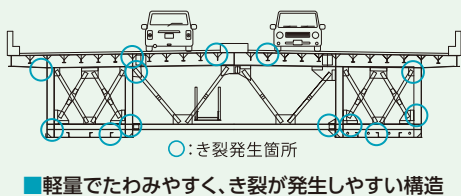
2023年5月27日から6月10日まで1号羽田線の終日通行止めを行い、既設橋及び新設橋を河川上でスライドさせて架け替えを実施しました。架け替え完了後は既設橋の解体等を実施しています。



損傷状況



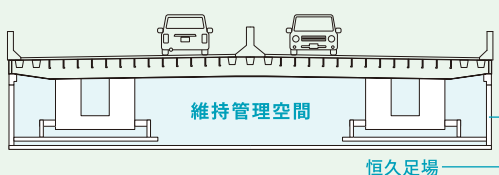
更新前



更新前



更新後



- 耐久性が高く、き裂の発生しにくい構造に
- いつでも点検・補修が可能な維持管理空間(恒久足場)を確保

更新後



※事業完了時のイメージ図であり、形状・色等は実際とは異なる場合があります



完成イメージ

施工方法

高速大師橋リニューアルでは、既設橋の隣（下流側）に、長さ約300mの新設橋を組み立てて、既設橋と新設橋をスライドさせて一挙に架け替える工法を採用しています。これにより、既設橋の撤去と新設橋の架設という2つの工事を、合わせて2週間という短期間で実施しました。

〈高速大師橋更新〉



<p>STEP 01 新設橋の橋脚を組み立 新設橋の橋脚（橋を支える部分）を組み立てます。</p> <p>↓</p> <p>STEP 02 新設橋を組み立 既設橋の下流側で新設橋を組み立てます。</p> <p>↓</p> <p>STEP 03 ①羽田線 通行止 ②既設橋を撤去 既設橋を上流側に移動させます。</p> <p>↓</p>	<p>新設橋の橋脚</p>	<p>STEP 04 ①羽田線 通行止 ②新設橋を架設 新設橋を架設します。</p> <p>↓</p> <p>STEP 05 既設橋を解体 既設橋を解体します。</p> <p>↓</p> <p>2025年度 工事完成予定</p>	<p>スライドして架設</p>	<p>既設橋</p> <p>新設橋</p>	<p>下流側</p>
--	---------------	---	-----------------	-----------------------	------------

2週間での架け替えを実現するための3つの工夫

<p>1 スライドによる一括架け替えを実現</p> <p>移動用レール（バント）</p> <p>（撤去）約30m</p> <p>既設橋</p> <p>約30m</p> <p>新設橋</p> <p>川崎側</p> <p>東京側</p> <p>上流</p> <p>下流</p> <p>イメージ</p>	<p>2 あらかじめ橋をほぼ完成させて、通行止め期間を短縮</p> <p>照明柱</p> <p>高欄</p> <p>中央分離帯</p> <p>路面（2車線）</p> <p>路面（2車線）</p> <p>イメージ</p>	<p>3 雨天でも工事可能な環境を整備して、確実に工程を管理</p> <p>防雨施設</p> <p>溶接作業員</p> <p>橋脚部溶接時のイメージ</p>
---	--	---

VOICE



更新・建設局 事業推進部長（神奈川・埼玉）地区 野網 孝之

高齢化が進んだ高速大師橋の長期的な安全性を確保するため、高速1号羽田線を2週間通行止めし、架け替えを行いました。

通行止め期間中は、首都高をご利用のお客さま、通行止め区間周辺の一般道路をご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。皆さまのご理解とご協力のおかげで、無事に架け替えを完了させることができました。誠にありがとうございました。

引き続き、安心・安全な首都高を目指してリニューアルプロジェクトを進めてまいります。